

2020年度統計関連学会連合第5回理事会・組織委員会 議事録

日 時：2021年3月13日（土）17:30 – 18:20

場 所：オンラインにより実施

出席者：

【学会連合理事】

連合理事長	岩崎 学
応用統計学会	富澤貞男，松浦正明
日本計算機統計学会	足立浩平，山本義郎
日本計量生物学会	松井茂之，寒水孝司
日本行動計量学会	菊地賢一（委任状）
日本統計学会	川崎 茂，山下智志
日本分類学会	栗原考次，富田 誠

【連合大会実行委員会】 西井龍映

【連合大会運営委員会】 久保田貴文，飯塚誠也

【連合大会プログラム委員会】 坂本 亘，黒田正博

幹事 阿部貴行，石岡文生，大草孝介

開会に先立ち、3月11日に逝去された日本計量生物学会の連合理事の橋本靖雄氏に代わり、東京理科大学の寒水孝司氏が理事会に出席する旨が了承された。

審議事項

1. 2021年度連合大会の開催方法について

2021年度統計関連学会連合大会の開催方法について、2021年度連合大会三委員長から次のような報告がなされた。

西井実行委員長より、会場である長崎大学文京キャンパスでの大会の実施許可が長崎大学から得られた旨が報告された。ただし、参加者数の上限の設定、現地参加者の事前登録や参加前の体調管理報告の義務化、懇親会や会場内での飲食の禁止、会場での感染防止策の徹底など、新型コロナウイルス感染防止対策に関する複数の条件付きの許可承認である点が補足された。また、現状はオンラインと現地参加の併用によるハイブリッド型の実施を第一選択と考えているが、今後の新型コロナウイルスの感染者数の推移によっては現地での実施許可の取下げもあり得る旨も追加された。その場合には完全オンラインで実施する計画である。

久保田運営委員長より、ハイブリッド型の大会の実施方法について詳細の報告がなされた。統計関連学会連合大会は研究発表の並行セッション数が多数であるため、技術的な側面からセッションごとにオンラインあるいは現地発表のいずれかの形式で統一する計画である。ただし、オンライン参加あるいは現地参加のいずれの場合もすべてのセッションに参加できるように技術的な準備を進めている旨が報告

された。参加および発表申込の際に、オンラインあるいは現地からの種別情報を収集する予定である。

坂本プログラム委員長より、研究発表のセッションの種類ごとに詳細の報告がなされた。チュートリアルセッションおよび市民講演はオンライン形式で実施する計画であり、市民講演の演者は山本和子氏（長崎大学病院）を予定している。プレナリーセッションもオンライン形式で実施し UCLA School of Public Health Biostatistics の主任教授である Sudipto Banerjee 氏による講演を計画している旨が報告された。コンペティションセッションは審査の公平性の観点からオンラインで実施し、一般の研究発表は申込み時にオンラインあるいは現地からのいずれかの希望をとりセッションを組む計画である旨が報告された。

以上の三委員長からの報告を基に組織委員会で議論がなされ、2021 年統計関連学会連合大会の実施方法は、長崎大学文京キャンパスを会場としハイブリッド型での実施に向けて準備することが承認された。

2. 2021 年度連合大会各副委員長及び委員について

岩崎理事長より、2021 年度のプログラム副委員長（2022 年度プログラム委員長）に黒田正博氏（岡山理科大学）に担当頂きたい旨の提案があり、承認された。

3. 異分野異業種研究交流会主催について

これまで共催としてきた日本数学会および日本応用数理学会主催の異分野異業種研究交流会について、負担の程度を勘案し、主催団体に加わる旨が提案され了承された。なお本件は、次期の理事会に引継ぎされる旨が述べられた。

報告事項

1. 報告事項

岩崎理事長より、次の報告がなされた。

- ・ 3 月 11 日に逝去された日本計量生物学会の大橋靖雄理事の統計関連学会連合に対するこれまでの貢献に深く感謝すると共に、心よりご冥福をお祈りする。
- ・ 次回 4 月の理事会において選挙により新理事の中から理事長を決定するため、理事の交代がある学会については、新理事を理事長及び幹事に報告するよう周知された。なお、日本計量生物学会の松井理事より、日本計量生物学会の連合理事を故大橋靖雄氏から寒水孝司氏に交代する旨が報告された。
- ・ 2022 年度の統計関連学会連合大会の開催地および実行委員長については調整中である。

次回連合大会組織委員会及び統計関連学会連合理事会：

2021 年 4 月 24 日（土）にオンラインで開催予定